

公開講座論集

平成27年度、第36回を迎える上田女子短期大学総合文化学科の公開講座は、「信濃のことは海こそなけれ、言の葉の幸ふ」をメインテーマに開催されました。開催の趣旨は、県歌「信濃の国」にあやかり、松本・伊那・佐久・善光寺（四つの平）のことはについて、それぞれの地域の方言に造詣の深い方々に一般向けのお話を願う、というものでした。

毎回、30名ほどの方々がお集まりくださり、充実したお話をお聞きすることができました。が、開催の日時がウィークデーの昼間ということもあり、折角の機会に参加できずに残念とのお声も寄せられました。

そこで、講師の方々にお願ひし、当日にお話の再現を基本に、お聞きになれなかった方々のために、文章化をお願いいたしました。講座に参加くださった方も、再度、その内容をご覧いただけたらと存じます。

なお、今回の講座のプログラムは、以下のようなものでした。

第1回 平成28年3月9日 10:30～12:00

「中信地方の敬意表現」

講師 沖 裕子氏（信州大学 人文学部 教授）

第2回 平成28年3月17日 10:30～12:00

「伊那地方の方言の今昔」

講師 中村 純子氏（松本大学 松商短期大学部 経営情報学科 准教授）

第3回 平成28年3月23日 10:30～12:00 「佐久の方言」

講師 篠澤 明剛氏（佐久ホテル 当主）

第4回 平成28年3月30日 10:30～12:00

「長野市方言の今昔」

講師 大橋 敦夫氏（本学教授）

沖 裕子先生の論文は、都合により次号以降の掲載となります。